

ジェラール・プーレ
デュオ
コンサート

野原みどり

6/24

2017
SAT

15:00 開演

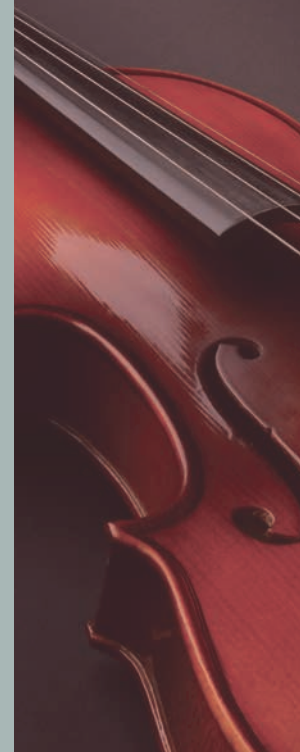
(開場 14:30)

アトリエ松田

<http://www.oto-no-atelier.com/>



Gérard POULET



Midori NOHARA



Program

セルゲイ・プロコフィエフ：

ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ニ長調 作品 94a

S. PROKOFIEFF : Violin Sonata No.2 in D Major Op.94a

クロード・ドビュッシー：ヴァイオリン・ソナタ

C. DEBUSSY : Sonate pour violon et piano

~~~~~

フレデリック・フランソワ・ショパン：

ポロネーズ 第7番「幻想」変イ長調 作品 61

F. F. CHOPIN : Polonaise-Fantaisie in A-flat major Op.61

ヨハネス・ブラームス：

ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ニ短調 作品 108

J. BRAHMS : Sonate für Pianoforte und Violine Nr.3 d-moll Op.108

入場料

一般 4,000 円  
学生 3,000 円

お席に限りがありますので  
必ずご予約ください。

ご予約・お問い合わせ

電話 075-711-4281  
Fax 075-721-1203  
E-Mail [sae-m@jupiter.sannet.ne.jp](mailto:sae-m@jupiter.sannet.ne.jp)



ジェラルール・プーレ Gérard POULET  
(ヴァイオリン)

フランスが誇る、世界的ヴァイオリニストにして、偉大な教育者。  
ジェラルール・プーレは、指揮者とヴァイオリニストであったガストン・プーレの息子として天才少年期を送る。(父親のガストンは、1917年ドビュッシーが「ヴァイオリン・ソナタ」を作曲家自身のピアノで初演の際、共演したヴァイオリニストである)

11歳でパリ国立高等音楽院に入学、2年後に首席で卒業。18歳でバガニーニ国際コンクール優勝。フランチェスカッティ、メニューイン、ミルシユテイン、とりわけ人生の師と仰ぐヘンリック・シェリング等の巨匠に師事。これまでに、パリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団、ストラスブール国立管弦楽団、リール、ポルドー、RAI・トリノ オーケストラ、ブラハラジオ交響楽団、リージュ・フィルハーモニック管弦楽団、北京交響楽団、シュツットガルト管弦楽団、読売交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック、仙台フィルハーモニック、大阪シンフォニカー等と共演。

78歳を超えた今も「現役」の演奏家としてコンサート活動を行っており、各国の主要な国際コンクール審査員(長)に招聘されている。偉大な教育者でもあり、2003年長年教授を務めたパリ国立高等音楽院を退官後、パリ市立音楽院とエコール・ノルマル音楽院で教鞭を執り、東京芸術大学客員・招聘教授(2005年～2009年)を務め、2010年より現在は昭和音楽大学の教授を務める。多数の音楽大学(桐朋・国立・沖縄県芸・愛知県芸・フェリス・作陽・洗足など)にも招かれている。コンクールの優勝・上位入賞者を多数輩出し、日本ヴァイオリン界のレヴェルアップにも、大きく貢献している。世界中でマスタークラスを行っており、日本では、「京都フランス音楽アカデミー」「いしかわミュージック・アカデミー」「軽井沢国際音楽祭」「北海道アップビート国際音楽セミナー中札内」「河口湖音楽セミナー」等に招聘されている。

1995年フランス芸術文化勲章、1999年フランス文化功労賞を受賞。日本弦楽指導者協会・日本フォーレ協会名誉会員。 [www.gerard-poulet.com](http://www.gerard-poulet.com)

野原みどり Midori NOHARA  
(ピアノ)

東京芸術大学在学中に第56回日本音楽コンクール・ピアノ部門第1位、増沢賞・井口賞受賞。首席で卒業後、パリ、エコール・ノルマルに留学。第42回ブゾーニ国際ピアノコンクール第3位、リストエチュード賞受賞。リスト国際ピアノコンクール(ブダペスト)第2位、第23回ロン＝ティボー国際ピアノコンクール第1位受賞。

J・フルネ、L・マゼール、M・ブラッソン、小澤征爾/フィルハーモニア管、ドレスデン・フィル他、国内外の指揮者、オーケストラと多数協演。また日本全国でのリサイタルや、ベルリン・フィル・ヴィルトゥオーゾ、アンサンブル・ウィーン＝ベルリンやヴィオラのG・コセ、W・クリスト、サクソフォンのC・ドゥラングルとの共演と、ソロに加え室内楽やデュオでも活躍している。

2001年3月に岩手と東京において、ラヴェルピアノ独奏作品全曲演奏会、また、2002年12月に東京でメシアン「世の終わりのための四重奏曲」を中心とする室内楽演奏会を行いいずれも高い評価を得た。2005年9月には、神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会でラヴェルの2つの協奏曲を演奏し、研ぎ澄まされたテクニックと音楽性が高く評価された。

2006年1月には中国の武漢交響楽団に日本人として初めて招かれ、ベートーヴェン「皇帝」を演奏。現地のマスコミにも大きく取り上げられた。2009年1月には、東京都交響楽団の定期演奏会で矢代秋雄のピアノ協奏曲を演奏し、好評を博した。2015年には、ロン＝ティボー・クレスパン国際コンクールのピアノ部門審査員として招かれた。

CDはこれまでに、「ラヴェル:ピアノ作品全集I・II」「月光」など、フォンテック、アウローラ・クラシカル等より7枚が発売されている。京都市立芸術大学准教授、名古屋音楽大学客員教授。 <http://www.nohara-d.com>



アトリエ松田

<http://www.oto-no-atelier.com/>

京都市左京区修学院大林町16番地  
地下鉄北大路駅下車(16分)  
北8系統 国際会館行きに乗り換え修学院道下車(北大路駅より約20分・修学院道バス停より徒歩3分)  
京都駅、四条烏丸より市バス(5、31、65系統)・所要時間約45分 修学院道下車徒歩3分  
京都駅より京都市地下鉄からすま線・京都国際会館行き(北行き)に乗り約18分乗車。松ヶ崎駅下車タクシーで約6分。